

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : 酸化ガドリニウム  
 会社名 : 関東化学株式会社  
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1  
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課  
 電話番号 : 0120-260-489  
 FAX番号 : (03)3241-1047  
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp  
 整理番号 : 17000

### 2. 危険有害性の要約

#### G H S 分類

##### 物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外  
 自然発火性固体 : 区分外  
 自己発熱性化学品 : 区分外  
 酸化性固体 : 区分外

##### 健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の區別 : 単一製品  
 化学名又は一般名 : 酸化ガドリニウム  
 成分及び含有量 : 酸化ガドリニウム 99.95%以上  
 化学特性（示性式） : Gd2O3  
 官報公示整理番号  
     化審法 : 1-701  
     安衛法 : 公表  
 C A S N o . : 12064-62-9

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。  
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。  
 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。  
 飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。  
 使ってはならない消火剤 : 特になし

特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

消防を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

回収、中和 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

### 保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2009年度版）

: 設定されていない

ACGIH（2009年度版） : 設定されていない

### 保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防毒マスクを着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

## 9. 物理的及び化学的性質

形状 : 粉末

色 : 白色

臭い : 無臭

沸点 : データなし

融点 : 2310°C

密度 : 7.407g/ml(20°C)

### 溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

反応性 : 特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口：区分外

経皮 : データ不足のため分類できない。

吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない。

吸入 (粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない。

ラット 経口 LD<sub>50</sub>>5000mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 : データ不足のため分類できない

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データ不足のため分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない  
皮膚感作性 : データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない

発がん性 : データ不足のため分類できない

生殖毒性 : データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : データ不足のため分類できない  
粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激されることが、データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 区分外  
データ不足のため分類できない

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
魚毒性 : 水生毒性 (急性) : データ不足のため分類できない  
水生毒性 (慢性) : データ不足のため分類できない

残留性／分解性 : 微生物などによる分解性はない。

生態蓄積性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 土中に埋立処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

## 14. 輸送上の注意

国内規制 : 適用法令なし

国連分類 : 分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

## 16. その他の情報

## 引用文献

Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編

Van Nostrand Reinhold Company(1984)

15710の化学商品、化学工業日報社 (2010)

国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版、化学工業日報社 (1992)

\*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート (SDS) は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート (MSDS) と記載事項は同一です。